

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都港区六本木4丁目5-11
園名	sakura 保育園六本木

1 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
身の回りのものには色という特徴があることに気づけるように、また、色が変わる様子を観察し、新しい色ができる発見を楽しめるように設定しました。

2 活動スケジュール

- ・活動に必要な素材(パタパタ色マット、絵の具、カラーセロファン等)を準備する。
- ・安全に配慮した環境設定をし、子どもたちが自由に動けるように配置や動線を工夫する。
- ・子どもたちが自分の発見や感じたことを保育者と言葉でのやりとり・しぐさで共有する。
- ・子どもたちの様子や気づき・関わりの変化など保育者間で共有し、次回の活動内容や環境構成に活かしていく。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・広いスペースで行ったり、絵の具を使用する際には十分に遊べるように水遊び場を使用するなどの工夫をする。

・様々な色の玩具を準備し、子どもが自由に手に取れるように環境設定を行う。

・パタパタ色マットやバランス平均台を用意し素材に触れたりして興味を持てるような言葉かけを促す。

混ぜたら何色になるだろう。

・絵の具を使用し、一人ひとりが自由に試しながら変化に気づけるように、共感や問いかけを主に関わる。また友だち同士のやりとりを大切に関わりができるように促す。

光を当てると何色になるだろう。

・カラーセロファン、すずらんテープを使用し、光にかざしたり、揺らしたりすることで子どもの興味を引き出せるようにする。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

生活する上で必要な色について、色の名前やどんな色があるのか、混ぜたら何色になるのか、混ぜたら色は何色に変化するのかなど色の広がりや変化に気づきながら楽しめるように実践した。

パタパタ色マットの上で飛び跳ねたり寝転がったり身体全身を使って興味を示し、色の変化に不思議そうに眺め、手を見つめたり差し伸べたりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・絵の具の活動では、混ぜたことのない色を混ぜてみたり、不思議な色に変化したときには「この色の名前を決めよう」と、会話するやりとりがある。

・保育者がピンク色をつくっていると「同じのをつくる」「薄いピンクつくる」など自分たちで色をつくらうとする姿が見られる。

・2歳児から0歳児1歳児に対して「まぜてみよう」「混ぜたら何色になるかな」と面白さを引き出す様子が見られる。

5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・混ぜたら何色になるのか、大人でも創造のつかない色が発見できる。
- ・保育の中で赤、青など理解しやすい色を使用することが多い為、色に偏ることがある。
- ・製作や活動の中に様々な色を取り入れていきたい。
- ・色の変化に対して子ども自身が発見したり自ら関わろうとする姿をみることで、発見の過程を大切にすることを改めて感じる。
- ・関わり方に個人差があるため個々のペースを大事に、安心して取り組める環境づくりの必要性も再認識する。
- ・活動時の人数を少人数に設定し、子ども一人ひとりの興味や関心に寄り添いながら、より丁寧に関わる環境を整えていきたい。

活動の様子写真
別紙参照

【活動の様子】

